

市民の愛した もうひとつの ヨーロッパ絵画

バロックから近代まで

福井県立美術館

〒910-0017 福井市文京3-16-1 TEL:0776-25-0452 FAX:0776-25-0459
<http://info.pref.fukui.jp/bunka/bijutukan/bunka1.html>

2010

4.29(木・祝) → 5.23(日)

- 主催・会場／福井県立美術館 ●協力／長坂パロック株式会社
- 開館時間／午前9時から午後5時まで(入館は4時30分まで)
毎週金曜日は午後8時まで開館(入館は7時30分まで)
- 休館日／5月10日(月)
- 料金／一般800円、大高生500円、中小生300円(30名以上の団体は2割引)
※身体障害者手帳所持者とその介護者1名半額
(但し障害者手帳に介護印のある方のみ)
- 講演会／5月9日(日)午後2時から～(於 当館講堂)
【講師】千足伸行氏(成城大学教授)
【演題】「ヨーロッパ絵画の楽しみーバロックから近代へ」
- 担当学芸員によるギャラリートーク
5日(水・祝)、16日(日)、22日(土)午後2時～(於 展示会場)

EUROPEAN
PAINTINGS

描かれた女性・天使たち

市民の愛した もうひとつの ヨーロッパ絵画

バロックから近代まで

17世紀のヨーロッパ美術はバロック様式と呼ばれ、スペインやイタリアなどのカトリック教団で宗教画が栄えた一方で、オランダなどのプロテスタント国では、市民生活を反映した世俗的な絵画が盛んに描かれました。また19世紀は、美術史上近代と呼ばれていますが、リアリズムが興隆し、特に印象派の画家たちが活動した時代でした。

しかし、今日のように名画と触れ合う機会がなかった時代にあって、当時の市民が身近なところで親しむことができたのは、王侯貴族たちが愛した巨匠の作品ではなく、その周辺で活動した作家たちの描いた作品でした。

今回展示する13か国の56作家、58作品の中には、ルーベンスなどから技法を学んだと言われている作家の作品もあります。その国で、その時代を生きた人たちがそれぞれの絵を見て感じた喜びを、“もうひとつヨーロッパ絵画展”では是非体感してください。

描かれた女性・天使たち



上左:ロベルト・ナドラー(ヴェネツィア)
 上右:アルフレッド・ド・ブリーンスキー(湖の風景)
 下左:フィリップ・リンド(窓辺の子供達)
 下中:マリアン・サルバドル・マエーリヤ(聖家族と幼い洗礼者聖ヨハネ)
 下右:ジョルジュ・ルフェーヴル(青いストッキングをはいた女流詩人)

同時開催◎館藏品によるテーマ展「岩佐又兵衛～福井藩御用絵師の軌跡～」(本展チケットでご覧いただけます)



交通のご案内

- コミュニティバス／福井駅前西口「駅前商店街」または「福井駅北」のりばより田原・文京方面行「県立美術館前」下車
- 京福バス／JR福井駅西口(10番のりば)より福井総合病院線26系統「藤島高校前」下車(※日曜日、祝日は運休)
- 福井鉄道・えちぜん鉄道／「田原町駅」下車、徒歩約8分
- 車・タクシー／福井駅前より約8分、北陸自動車道福井北ICより約15分

※ご来館の際はできるだけ公共交通機関をご利用下さい。お車の際はアイドリングストップにご協力下さい。

福井県立美術館

〒910-0017 福井市文京3-16-1 TEL:0776-25-0452 FAX:0776-25-0459
<http://info.pref.fukui.jp/bunka/bijutukan/bunka1.html>